

門 2  
3248  
3

瓜生政和編集

# 萬國百物語

石塚寧齋畫圖

東京

書肆

二編

保永堂

藏板

## の巻 目録

○ 英吉利のはまー 一丁

○ 蘇格蘭のはまー 三丁

○ 威勒士のはまー 六丁

○ 愛爾蘭のはまー 十丁

○ 英倫のはまー 十一丁

○ 連國のはまー 十七丁

○ 瑞典國のはまー 廿一丁



萬國百物語

○ 那威國のはまー 廿二丁

○ 拉巴蘭のはまー 廿五丁

四の巻 目録

○ 佛蘭西のはまー 一丁

○ 和蘭のはまー 十四丁

○ 白耳義國のはまー 廿二丁

通計

十二條

萬國百物語卷之三

東京

瓜生政和編集

○ 英吉利のえまー

○ 英吉利とい英倫、蘇格蘭、愛爾蘭、威勤士の四ツの国と合せたるの名なりけ。国ハ歐羅巴の西大西洋中  
ふあるニツの島ふー、英倫ハ南ふ在り、蘇格蘭ハ  
北ふ在り、威勤士ハ西ふ在り、愛爾蘭ハ別ふ一ツの

島と為せり度数の蝦夷柯太の地と類すと似ども  
 割ふ合せての寒くさ薄し土地北ふ高山多く南へ稍  
 平坦あり河へ達迷塞河へメドウエー河などと以て最  
 と為す且諸物運送の爲ふ堀割する溝渠の所々の  
 都會ふ聯り巡りて其数甚多し赫督撫と云  
 ふ者が技計ふて堀する溝へブリドゲワトルと名けり  
 河ふて「トレント河」カヘル子河を合せて引る水あり  
 「ウオルトレイ」と呼ぶ処より始まり山を越え谷を越え

水路と附るふ因り地の底とニ夕時半をどの間  
 流る処あり又「イリウエル河」ふ至りての高さ三丈八  
 尺の上へ規と跨がせ「イリウエル河」を往来する大船の  
 通路とさまじげず然して規の中ふも小舸帆と揚  
 て快く駛走ゆるるど其壯觀想ふべし斯の如きの溝  
 渠ある所々ふ多し農の小麥と専らとるし又裸  
 麥とも多く作るとども尚食と爲るふ足らず又薪  
 小切出す樹木之とを以て朝夕のものを皆石炭と用也



○當国の産物中石炭を以て第一とす。鍊の鑛これ

次ぐ石炭の年々掘出すところの高六千六百七十

万噸餘ふ。二千年餘を経るとも尚尽す。ふ

至らず斯の如くまじり石炭を掘出す人足全

国中ふての日々十五万人餘ふ及ぶと云ふ

○蘇格蘭ふての常の食ふ小麦馬鈴薯とて用ひ

愛爾蘭ふての馬鈴薯のこを以て食とす。此国

牛馬もろとも多く英倫愛爾蘭と合せて一千万

頭餘を以て算へ別ふ良馬二百八十万疋羊四千二百万

疋ふ及ふ

○は国往古の羊を産せず依りて今より百三千年

ほどおのころ伊斯巴泥亞より羊氈数百万疋を移

是を殺すことと嚴し禁製とす。又他国へ賣

渡すとも法度ふて若し犯す者有まば左の如く

断り十二月の間牢へ入るとかくと則と為す斯の

如きを以て羊年々殖すと夥し西班牙の羊の歐

羅巴中の上等ある故其種と移しつりしは當時

ふての西班牙のものより更し一等を加ふと云ふ

○蘇格蘭の北の方の牛の形体矮少くして多くは角

あり愛爾蘭の牧の場所廣さを以て牛沢山ある

故牛酪と出すと夥しその地の人の耕作をするを

首務とみさず牧畜を以て活計とあるもの十ふ

して七八ありしが五十年ほどおふ政府より世話

ありて農事とも教務むろてなりしなり

「ヒットランドと云ふ島の中ふ不思儀ある洞穴あり深さ

数歩小過ず穴の中常ふ湿りて水点滴あら人び中へ

物と投こめば一切なる化して石質の形ちとあり漸く

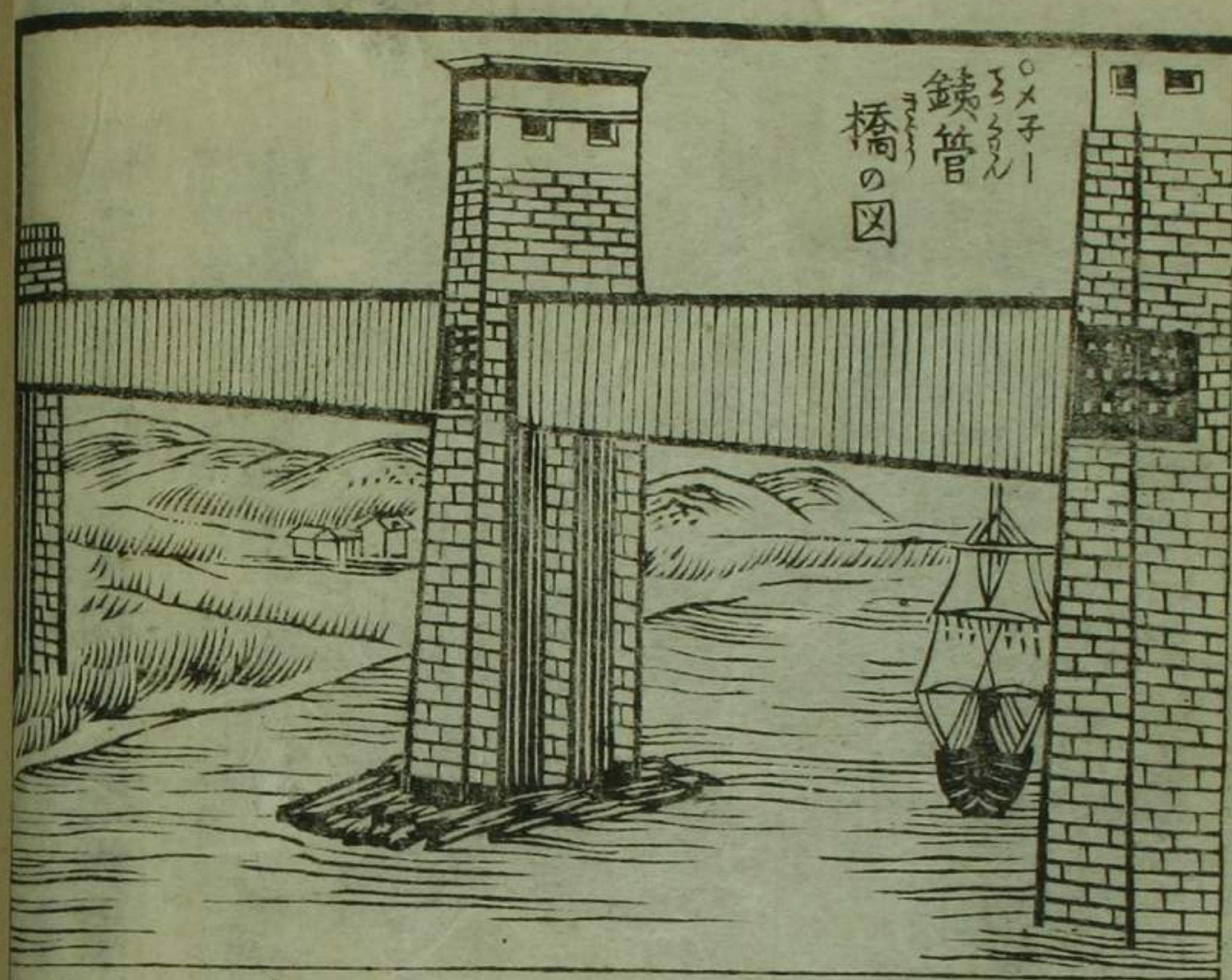
より堅き石とあり

蒸気車の鑛道は國中と廻り亘りて其長さ五千

八百里餘ふ至る

は国都會の場所さめ多く人員一万以上の里

百五十ほど有るあり



○立弗布立の城下の首都  
 倫敦の次ぐの町にして  
 人員五十二万餘国の西の  
 方美塞河の出口あり  
 愛爾蘭亞米理加と  
 貿易の船の皆この  
 港より出入り  
 ○曼識特の城下のイルウエ

ル河の傍に町あり人員四十九万餘ふ至り綿布  
 と織出すは機械場と世衆才一とぬす  
 府内の織殿のこゝ八階九階の高さありて二百三十三軒  
 あり綿と繰り糸と紡ぐに尽く蒸気の仕掛るれど  
 も其職人猶常ふ四万二千ふ及ぶと云ふ  
 ○比名罕の城下の鏡細工の名所ふして蒸て玻璃の器と  
 も能す人員三十七万餘ありて所の土瓶の口より湯  
 気の噴出すと計りて一合の水沸騰ば二石七斗の



容量とあり千七百倍の力とありと發明し蒸気の  
機関と造り出せし瓦徳とよ人の出たる地故今も蒸  
氣ふて物と製作あるの會社多し

○沙非的の城下の鉄甲の船鉄道用ゆる諸具或は火  
砲もこの砲丸と製するところ用ゆる蒸気の仕掛夥  
ぐさといて黒烟常ふ府内と掩ひ晴天と云ふこと  
能はず林火立ちるところの石炭の自ひ四方数十町比  
間ふらこと也

○威勒士の英榮の西の海岸寄ふて愛爾榮と海と  
隔て向ひ合ふる国ありスワセロ府の城下の毛氈の名  
所みよび其製衣もろとも精良と極む安各勒塞島の  
この地の西の海岸と少し離れし所ふあるを以て鉄小  
て造りし管橋と渡り蒸気車と通ずる鉄道とあり  
す其長さ三百七間あり橋の下と大船の往来するが  
る水面より三十二間あるの上ふ架し煉化石を以  
て築立たる橋杭僅らふ三所ふ在り橋の鉄の鍊板

と以て内幅二間一尺高さ四間二尺の箱樋の如く造り  
あり橋の名と貌利太鉄管橋と云ふ實は橋梁  
中の巨大なるものあり

○蘇格蘭の山脈蟠屈り峻峻の地多しと之ども能く  
開墾して耕作せし届き且文学勝るとて行つと四  
所ふ大学あり生徒もつとも盛んあり

○以下堡の四国の首都ありて人員十七万九千あり  
医学道学の如きは地の学校と以て英吉利中  
の才一等とす書物庫至つて大に蔵する所の本十  
万巻餘ふ至る

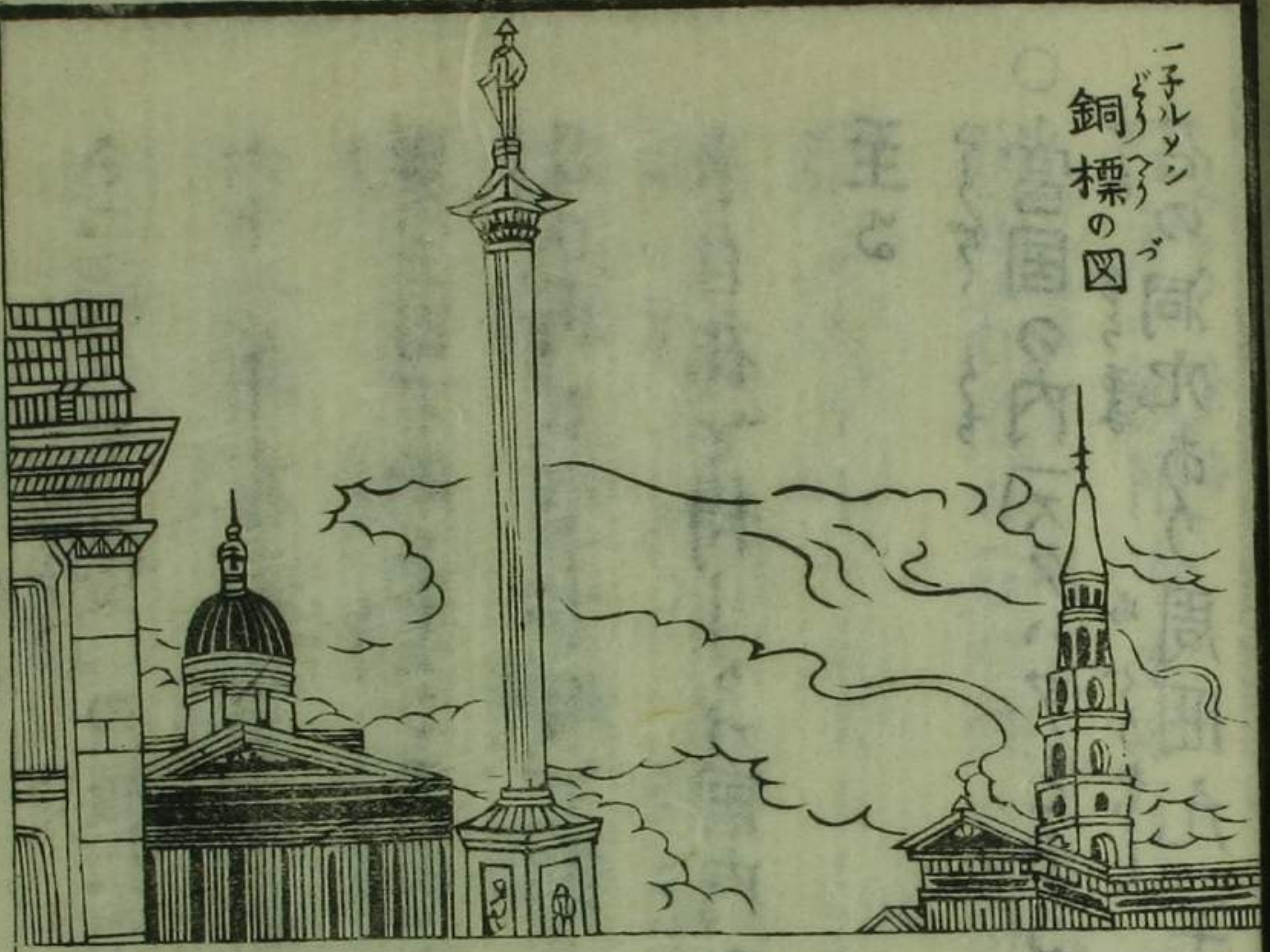
○哥羅斯哥の城下の西の海岸に在り當国才一の  
大都會ありて人員五十七万ふ及び繁昌あると全  
国の才三むんぬ四大府の其一あり

○英吉利の三都の英倫首都倫敦蘇格蘭の首  
都以下堡愛爾蘭の首都都柏林あり又四大  
府のホール府マレチエストル府リプルプール府

グラスゴウ府あり

け地洋布と織出すと夥ごく常小用ゆるところ  
 の織機二萬五千紡機百八十万とと蒸気の仕掛ふ  
 て運動日々ふ織出すところ洋布の長させふ並ふ  
 伸一く百四十四里二十四丁あり是と二年の金高ふ並  
 一千五百万兩とす又け洋布ふ織ところの棉花の  
 毎年十二万俵前後ふいて皆亞米理加よう持渡こゆ  
 のとぞ然まども前ふ記しる曼識特の城下洋布

銅標の図



と織出すと於とふ一倍の  
 高を加ふところ  
 ○け地の「ミユリ」・ヒルツと云へる

内海より「ロツキ」リンニと  
 云る内海まで溝河と掘り  
 通し船路を附けりことと  
 カラドニヤン・カナルと号く  
 其長さ三十里幅二十間深

二間三尺間門の数二十五所ありけ堀割今より  
六十七年おふ始まり十七年めめて成就す惣雜  
費三百万兩ふ至る其後まゝ二十五年と経て修復ふ  
及び再び六十万兩と費しつゝと以て河蒸気船の往  
来自在と得しつゝ国内の便利舉て算ふべしつゝふ  
至る

○當国の内「スタハア」と云ふ小島ふ楕圓ありとせし岩  
石の洞穴あり周田九二十六丁岩の高さ二十四間餘洞

の一方の數限りも知れぬ低き石の柱立廻り一方の高さ  
五間お後の石の柱突立兩方の石の柱宛蟻りて「ヒ」  
ゴールスケトプと云ふ山石の洞ふ抵るる洞穴は弓形  
おしく高さ九十二間四尺ありけ処もまゝを類の石の  
柱聚り從尊え立て洞とみす遠く是と望ぬの奇觀  
極りる一尺造化の妙作とのこ云て未だ其理を究  
むるものあり実ふ世叟珍境あり

○愛爾蒙の内「ベンゴール」へツトと云ふ海岬ふもま

「ジヤイエント、コウスウエーと  
云る天然の石の柱あり数  
四万石ほどのもの聚り立て  
岬の頭とあり其上の平  
坦ふりく波戸場の如し  
岬の端の長さ百十六間  
四尺潤さ五十八間二尺高  
さ岩の底より六十六間



洞中の図

四尺と云ふ是れ一の奇観あり

○愛爾蘭の山脈横小亘り其間小廣大る野原あり  
氣候温和ふりて畜類を牧ふ宜し牧の草常小青  
青しとて以て土人呼ぶ青草島と云ふ

○都伯林は此国の首都ふりて人員三十三万餘あり  
町の家並直經ふりて長さ二里半幅二十間の道  
あり女王義利沙の建たる法教の大学校は廣大  
ふりて常小生徒二千入有り書物庫ふりて本十

五万巻と貯へ手寫の珍書多しといふ

○ハレンヤの城下の西南の海へ出張する所不在りけ

処より傳信の線と海の底へ沈めて北亞米理加の

島新著の「チリシツチ」と云ふ地へ達す其距離

九百七十五里海の底の深きところハ三十五丁ふ及ぶ

は大仕掛と種々小工夫して今より三十年前と云

ふ漸成就ありて或は程なく損じて用と成ずる

りしりしと巨万の財とを量の智力とを尽し

五年ふお至り又二條の線と通じ始めて成就するお

至りしは音信一時と待ずして達するといふ

○倫敦ハ英吉利惣国の首都ふして達迷塞河と云

しをさへ建連ねたる家々三階より五六階お至り

町の長さ四里幅三里の内外ふして是と一連お伸

せび三十里餘お至る人員ハ三百二十万餘大小の寺

院六百八十六学校二百六十私学校千五百病院百

五十武塔庫百五十五劇場二十二所貿易及び

諸物制衣造の局とて合して七千七百餘あり実  
世夷第一の繁昌と占つて往來の人或ひ馬車  
の繁さと以て道と横切りては方より彼方へ至ると  
能いざらむどあり府内と東西南の三大區別ち  
東の商人多く西の高樓殿閣多く南の制衣作場と  
多し

セント・ホールズ寺の圓き塔の高さ六十一間四尺あり  
モニメントの高さ二十四間の銅標あり今より二百五

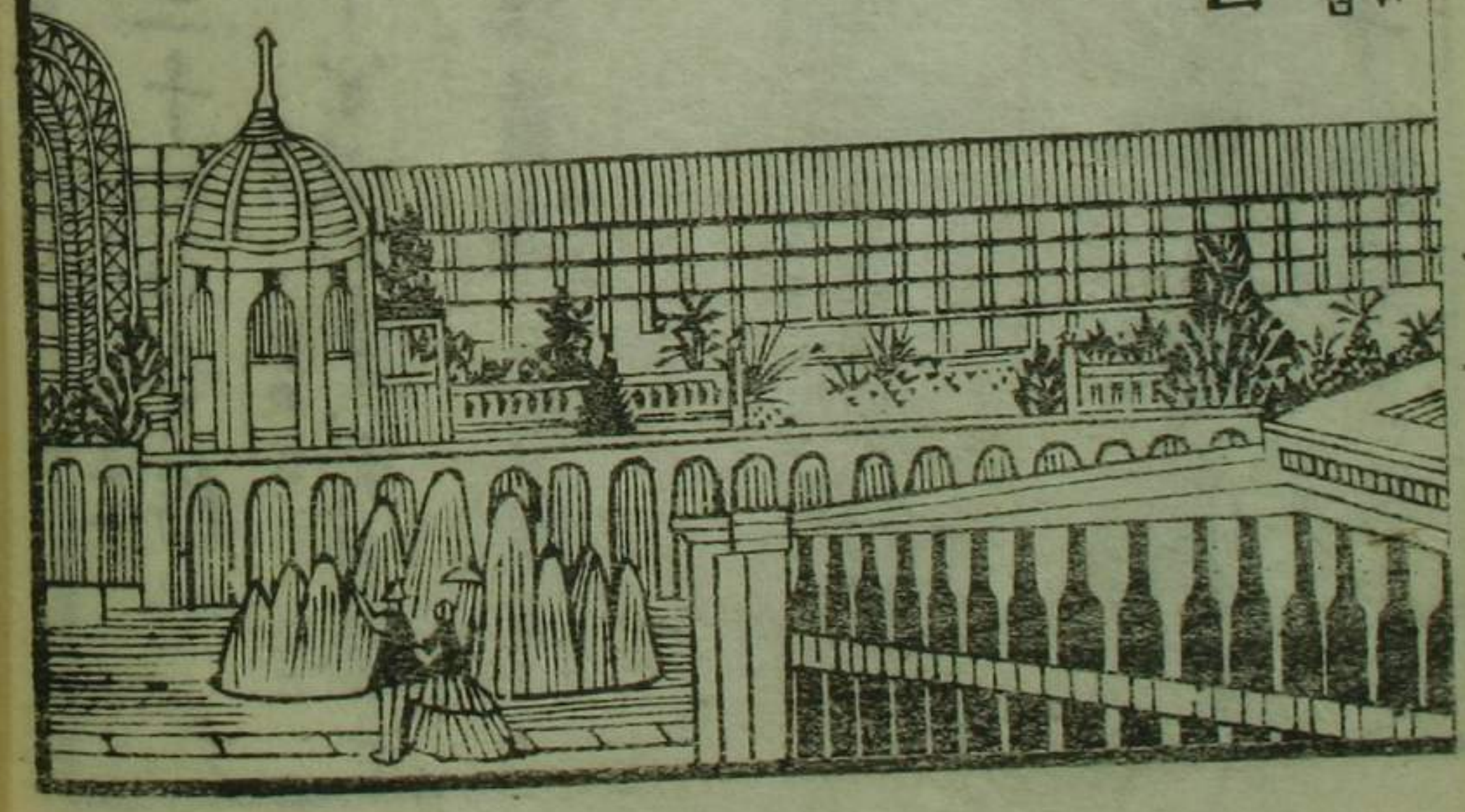
十年おふ大火ありて家数二万三千四百寺院八十九  
焼亡る一死傷せし人夥しかりと以て其火を發せ  
しところふ是と建後來の爲ふ往昔語りと記せし  
所の碑あり

ツッキンハム及びパンプトンの両宮ハ国王の居所あり  
美麗壯大言辞ふ尽し  
府内と流る達達塞河へ十三ヶ所橋を架す  
長さ百三十間より二百間ふ達す鑿或ひ石ふ

高野山百物語

造り何とも奇功と極む  
 又河の下の地と穿ちて道  
 と通し橋ふ代て往来と  
 ぬす穴の道暗さといて  
 瓦斯燈と點し商人見世  
 と出し道の関ふとと嚮  
 ざ居るるうけ道今より  
 三十年ふどおふ成就

博覧會場の図



ぬせより其造築の巧なる外國人として敬馬う  
 ちるふ足るものあり

刑イデンハムの博物館の長さ二百七十間高さ三十三  
 間二尺ふりて鉄の柱鉄の棟を用ひ上と掩ふ小玻  
 璃と以てせしうべ遠く是と望む水晶と以て造り  
 しが如し故に水晶宮と言ふは内ふの世中の方  
 物と摸し或ひ其品々と採り集めて一切あらす  
 と云ふ物るけとび一目の下ふ全世界と云るが如し



の所あり

前ふも記し如く倫敦中ふ公私の学校二千ダ  
 所近きるど在りと久ども今より六十年たふ  
 ロウガムと云ふ人の政府へ上る建白書ふ倫敦中ふ  
 未ど教訓を受ざる小児九万人ありまゝ曼識特の  
 城下ふ六年以来我姓名と書すと能はずして妻  
 と娶り一者九千七百六十五人あり是らへ皆稚さ  
 より諸職ふ給仕一学校の教誨と後ふするの故と

以てありと載せりまゝ其頃倫敦中の普通のひと  
 兇匪とと比例しふ常の人八百五十四人ふ兇匪一人と  
 一愛爾蘭ふてふ常の人一千八百九人と兇匪一人と  
 一蘇格蘭ふてふ常の人二十万十三人と兇匪一人と  
 為すとぞ蘇格蘭人の斯善人多らる其国の人性  
 質厳正して共学の設けある故と言へり抑は国の学  
 校の制未ど具ふ備をらずと雖ども著作の書ふ  
 旋るく言辭ふ禁止るけまゝ新聞紙大いふ行を

青島百物語三

十四

上下相隠さず事と公おぬを以て人心自然正道  
お進むとあり

○英国も大古の野蠻の人のこふて酸味さうと今よ  
り千九百餘年おふ羅馬の元帥該撒とりふ者英倫  
お渡り来りしと始めとるし後羅馬の草老去斯帝  
お至り軍と出して國人を伐従へ都府と建街道と  
分ち大いお荒地と開拓るせり然ととも蕪格榮威  
勒士とりの狼酋長ありて是お伏せず夫より五六百

年と経て又日耳曼の中安各羅人薩克索人ら  
処お来り土人と蕪格榮威勒士らとの地へ追入  
安各羅薩克索族と名けて七軒の大名とあり  
各權威と振ひつりしが又三四百年と経て厄塞  
斯侯と云ふ者七軒の大名の中より起りて  
切從へて初めて英倫の一國と平らげつり折ら  
嚏国の軍勢海と渡り来り是が為お土地七八分  
と掠め大集する然るお今より八百年おどまへの

ころふんす西国の西の海岸ふんかんに別と居わる維廉ふんれん侯  
 大いへい兵とあが挙てあ侵入いり連人れんじんと追おひ拂はらひ全国ぜんこくと  
 平定へいぢやうすることと得えて王家わうか始めはじめて定さだり代々だいだい盛衰せいすい  
 衰へん革有ありとりども次第しだい富強ふきやうを極きむる土地ち  
 の要害えうがいよきと以もつて他の歐羅巴えうろぱ各国こくの如ごとく相互あひあひに  
 討伐とうはくの難なん少すくるさ故ゆゑあり  
 以もつて国軍艦こくぐんかんと出いでて追々おひ領分りやうぶんと殖よくけし五大  
 洲しうの中ちゆう英吉利いんぎりの属地ぞくちをなす一は属国ぞくこくと二ツ小

集あつむるときは歐羅巴えうろぱ全洲ぜんしうより一倍半いちばんの廣ひろさふりて本  
 国こくより大おほいゑるゝ五十六倍ごじゅうろくにんばいとぬす魯西亞ろしやの世せ界かい  
 の大國たいこくと称しやうすと雖なども英國えいこくより狭せまきこと四百九十  
 三里さんり四方しやうあり故ゆゑに英吉利いんぎりを以もつて坤輿こんい中の最大さいだい國  
 とすると云いふ  
 ○英倫人いんれんじんの容貌くわうめい端麗たんれい尊嚴そんげんゆりて意思いし高たかく物もの小聰せうず  
 敏とく人ひとと交まじりて質實しやつじつるまことども情じやうを匿かくして妄まがりふ  
 表おもてへ露あらしさず勉強べんきやうふ事ことと執とまことども華侈あざやうふ長ちやうド名な

○英國女王  
「ライネトリマの像」



と好んで傲慢あり、オーストラリア 蘇格蘭  
人の傾長ふりて質朴と旨  
と一身体強健心又勇敢  
るまども其性簡易るると  
喜ぶ愛雨榮人の性質善  
良よく容と愛一慈と嗜  
めども政治の峻嚴と厭ひ  
勉強するごとと喜ばす威勅

士人の畧英倫人と同ドと一書ふんえんり

○噠國のをるー

噠國ハ波羅的海と北海と突出ー三方海ふりて  
只南の一方のそ日耳曼小連り普魯士と境と接也  
氣候ハ寒々強く一て雪調常小多一然とども  
人の身体へ害ある程お不在らず国の中平坦なる  
ところ多きを以て湖沼の類ひ甚ど多く波羅的海  
の方ハ土地殊さら小低さ小因り廣大る堤と築未き

て海の潮の漲り来ると防ぐと之ども今より四十八  
 年不どおふ突波来り堤を壊して平地ふ打入り  
 家を漂へ一庫を倒し人畜是がぬふ命を失ふと少  
 むららずヘリムロヨルドの地も元は此国の北の海岸を  
 りしが突波のぬお別とて島とあるふ至まらう土地  
 肥沃ふいと燕麦菽豆の類ひと多く産し牛馬の  
 牧も盛んふ行つと交易の品の第一とぬす  
 け国小さうと之ども歐羅巴島中の旧き王国おして

三面皆海ふ瀕むと以て船と出すの利最も便るる部  
 中港脚數十が所あり一港毎ふ多くの軍艦と收手  
 りて非常と戒しむ其令極めく嚴重あり  
 哥卑合給の地と以て首都とぬす此町は今より  
 三百五十二年おふ和榮の人移り住て建設け  
 る所あるゆゑ當節ふ至りても近き四辺の在方  
 ふとい和蘭言辞と多ふあり府の町新都旧都  
 の二ツふ分と海岸ふ堅固ある炮臺と廻らう

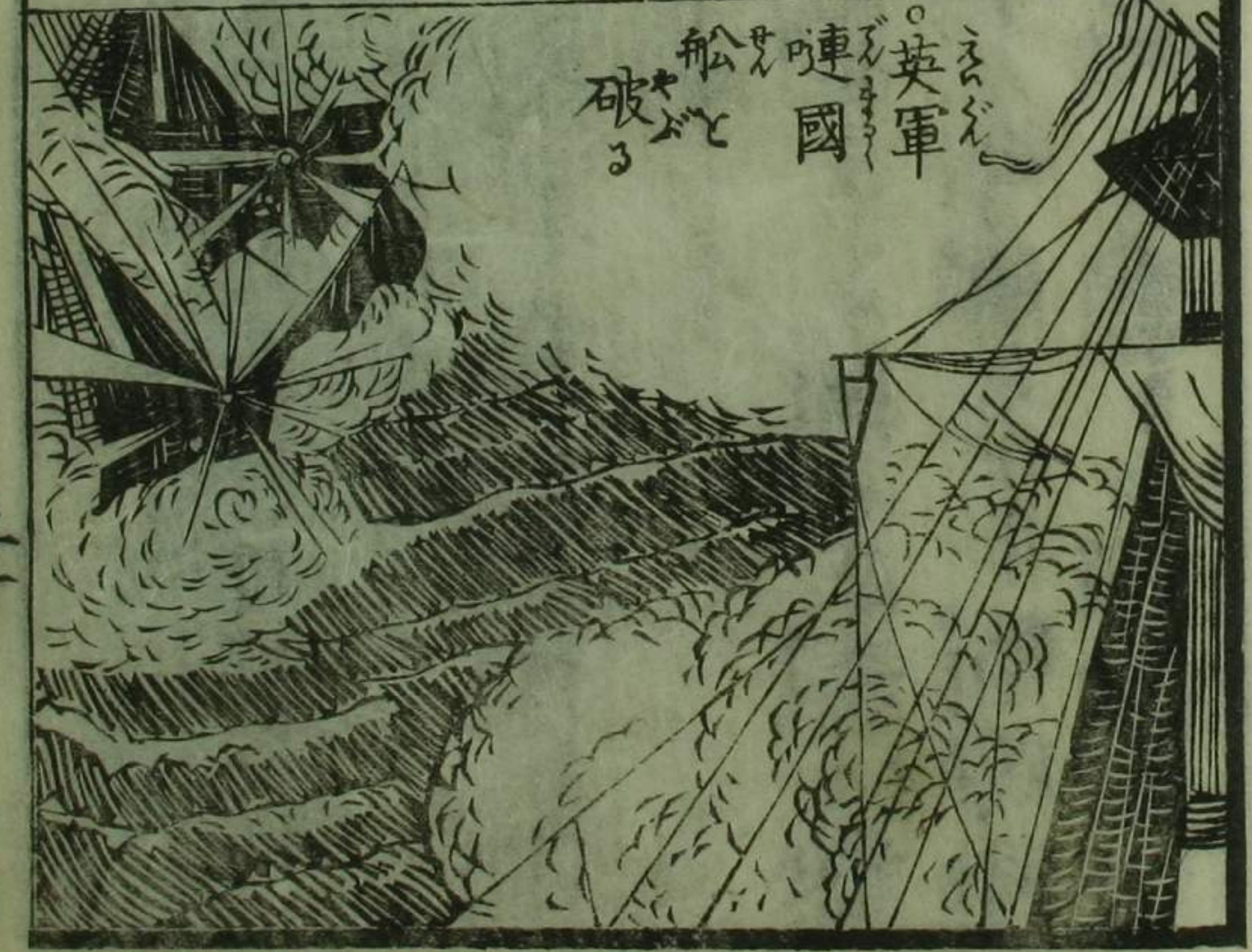
萬國百物語三

十一

各國の商船湊ふ出入りて碇泊貿易す 王宮美麗を  
麗と尽し書庫大学校まゝ耶蘇宗の本堂廣大  
大ふしく築造極めて美し府内の戸数三千二百  
餘人員殆ど十万余近し

は府へ六十六年をどおし英吉利海軍の大  
將納爾森といふ者数万騎を將ひ攻寄来り  
る國人是を迎へて大いふ血戦るしども衆寡  
敵し難く終ふ敗北をすふ及び討死する者二

千人市中の家居四  
百を焼軍艦十六艘  
里尼船二十艘をど或ひ  
ハ焼を或ひに棄つる然  
しども大を以て小を討  
つるの所置宜しうらず  
とて各國ともお是を  
誇り却く英国の汗



萬國百物語三

二十一

名とありーとそ

痾典斯の城下の敷南島に在りて人員一万七千

ヲールボルクの城下の人員一万二千

ヲールホースの城下の人員一万三千あり府下の人

ハ何とも船頭漁師と業とす

當国往昔ハ威勢強大ありーが漸々衰へ佛

榮帝拿破崙騷乱より所領よりー那威国

の如きも失ひ其封境大に小威定まり今ハ属国

と称するものハ僅うハ依蘭土一品のこあり

依蘭土の譯して氷地と言ふとあり那威より北

の方の海中二百八十里の所ハ在り

首府とハリキヤウイツクと言ふ人員一千二百

町の中所々ハ温泉あり當島ハ噴火山十九

ヶ所ハ燃上り歇加臘と名くる峯ハ海面より

直立五百十一丈麓の彼地ハ方ハ火を噴出

坑ありて土人其坑の上ハ木の枝を架し鉄鍋

と垂て魚と喜ぶるありへーセルと言ふ温泉の  
山上に在りて熱湯を迸出らせ高さ九丈と過ぐ  
能痼疾を医す

け国の人士の邊土に在りながら學問を爲す  
と好む風俗都て醇朴にして書と讀む字と  
書する事と知らざる者あり故に當地に至り  
し者其風俗と文學とを感賞して已れを  
起す不足まるとす

土人多く魚漁を以て活本とする故魚の骨を  
集めて作り一家あり甚ど希あり

往昔卧兒狼徳より悪疫流行し来て又那威  
に漫行り當地の人命を失ふて算うべからず  
是を焦死と云ふは悪疫以来人員大に減少  
一當時五百七十万に過ず然れども国内の  
廣さと噴国に過ぐ  
氣候に極寒あり一年の中水の流れ動へ



僅う小二月の寒さ甚ぐら時小至りて水  
と汲つて空中小撒揚とバ地まぐで落る間小皆  
氷りと成て小さるる片とぬすと云ふ

○瑞典國のともる

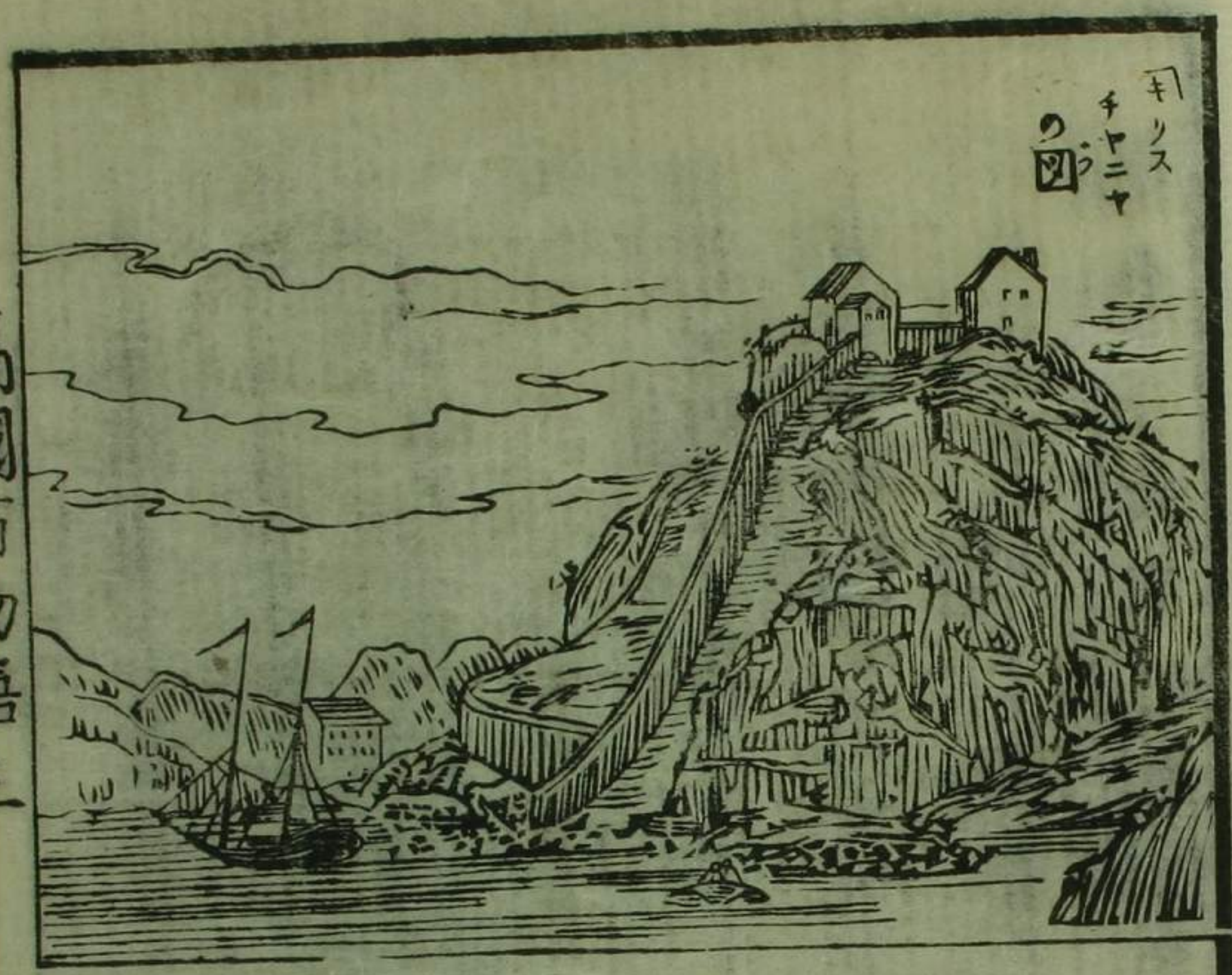
瑞典ハ全国と二十四カ所分ツ人員二万小過る城  
下づら小四箇所二万小過る城下二ヶ所あり首都  
と斯徳哥摩と言ふ人員十三万餘市街波羅  
的海小瀬と七ツの島小橋と架して家居と造

築す王宮もまゝ島の上小在りて美麗廣大と極  
む諸学校又盛んまり府外小在る美拉湖より溝  
渠と堀り通じて遠く内地と往來の便小備ふ  
内商人の住居ハ木あて造るもの多く道幅狭き  
と以てつらるところ美ららず然れども港へ出入の  
商船ハ日夜絶るとも  
烏布薩拉の城下ハこの国の往昔の首都ると  
ども今の市町大い小衰微ハ人員日づら六千小過

ず然ととも古来名高き大学校ありて猶盛ん不行  
 せと生徒常ふ一千二百人あらず又廣大なる書  
 物庫ありて理学の珍書と藏すと夥し  
 閣敦堡の城下のこの国第二の都會ありて人員一万  
 九千市町の家々の貿易と音とぬる故産物鉄銅材  
 木ととも積出すと夥し

○那威國のたるり

那威の全國と十七の分ツ人員一万あ過る城下



こがろふ六ヶ所首都と我  
 斯底安と言ふ北海より  
 入り江あ成りたる内地あ  
 りて今より二百四十二年  
 どののころ噀国の四世  
 我斯底安王の兵きくる  
 市街あり故に其名を取  
 て府あ員す人員六万

二千家居廣大なるもの之と雖も往來の幅廣く  
造作清麗と旨とあるゆゑ景色極めて美なり府  
の周田小炮臺と廻らす築造もとも堅固と尽し

白然の城下人員二万六千ありては国第二の都會

とあり材木銅とうと以て産とあり貿易する盛なり

ドロンテムの城下の往昔の国王の居所ありて一国の首  
都なり一故市町衰微するすとも雖も今於人員二万

あり何とも堅固の炮臺と設く

ハンメルフェストの町に人員千五百歐羅巴島中の北の外

の城下なる故五月六月の二ヶ月に日輪昼夜没する

と云く只其照す影の轉ると見るのこゝろは常小異り

温暖と以ては時小乗ト魯西亞の商船群とありて

入り来り稿魚魚脂獸の皮とうの産物と輸出す

春秋の日甚ど短く冬小至まば八九十日の間日輪の景

隠とて暗夜と成るなり故ふは地小住す者ハ夏の

高麗百物記三

十四

馴鹿の図



中一年の稼とわす餘は只  
 寒さの防ぎと以て身の勤  
 めとわらるる  
 け国は北の方の内地より  
 魯西亜の所領を跨り氣  
 候極寒なる故人の住ところ  
 至つて稀あり冬も至れば  
 夜国とあり夏は夜をくつて

益斗りあるとわす言るが如し土地の人の身体矮小風俗  
 卑しとよども生質質朴にして事ふかりて勉強する  
 るり冬は土中穴を掘りて住居とあり夏は穴より出  
 て帳幕を張り家とわす皆快鹿と養ひて生活  
 とす快鹿は寒さ強き地ふい缺ぐらざるの獣ふいて  
 是を牧ふふい木の皮或ひい雪の中の蘚苔などを採り  
 て餅とわすけりの能雪氷りの上と駈走りて人と  
 繋ぐる櫓と引又い物の運送ふ使ふ且その肉及び乳

と絞つて食料と爲り皮と衣服を製し骨と器物を造る土人の快鹿の数を集めて其貧福を評するなり此辺の地方を都て拉巴蒙と称す

今より三十二年より小魚目西亞の政府より領分中の長寿の者を改めたる者百歳より百五歳に至るもの八百五十八人百六歳より百二十歳に至る者百三十人百二十歳より百三十歳に至る者三人百三十一歳より百四十歳に至る者五人百四十五歳一人百

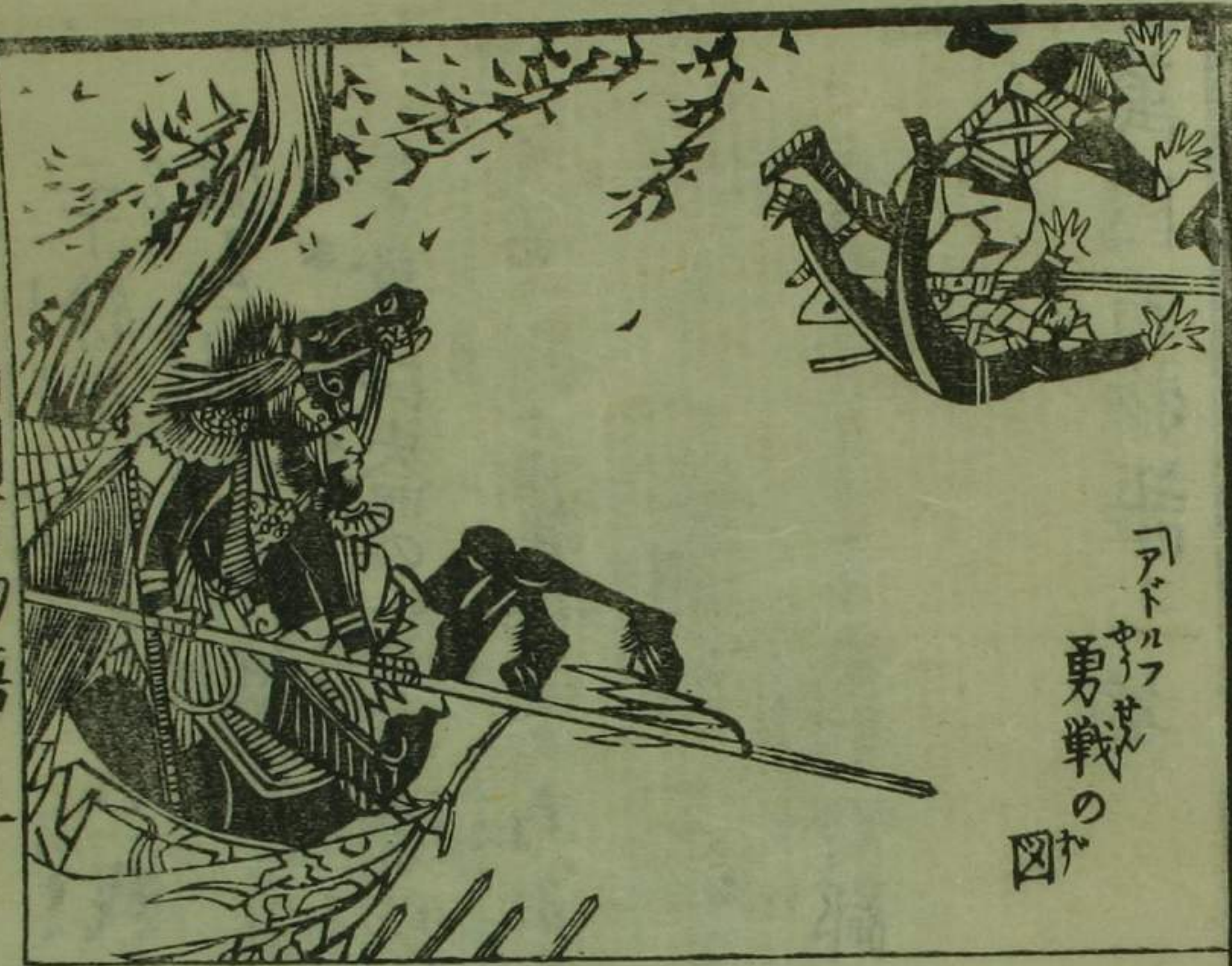
五十歳より百五十五歳まで三人百六十歳一人百六十五歳一人ありては長寿の者十の内七八は寒国邊土の人ありと言ふ是は那威の關係ありて是れ有らねど寒国邊土の因ありて爰に記す

強猛ありてエジシと名けし軍神と祭り是は国民の始祖と稱し専ら戦闘奪掠と昔と爲りて三三の者黨と結び兵船と出でて歐羅巴島の中を横行

一海岸多らるの国々は災害と象らざるものなり  
 仏蒙西の如き強国と呼ぶも猶是は敵するに能はず  
 西の海岸の地を奪ひ採らんと其地を以て候国と  
 稱へ權威と擅ふるは是と諾耳曼的と言ふは  
 噠国の軍勢屢英吉利を伐入り終は是と併呑  
 る一より然るは英吉利の王子民間より起り噠国  
 人と追退けて国土を尽く恢復せしこと嗣王暗弱を  
 るが故に噠国の兵再び来つて是を攻取り次に那威と

も伐平げ駕奴特王に至つて噠国英吉利那威の三  
 国小君より駕奴特王没し那威の人民噠国を叛い  
 く獨立し英吉利に諾耳曼侯の爲に奪りしことより  
 是時噠国瑞典那威とも王国を以て稱へ三国鼎足  
 の勢ひを張り久しく軍と接へりしが今より四百七十  
 六年前小那威王の夫人は噠国王の女とて以て那  
 威王没するに及び夫人馬里加亦達女王の位を昇り  
 瑞典とも合併し三国を兼領して強勢の形体を現

オセー小女王歿一後の王も皆噠国小都一瑞典那威  
 と以て属国の如く小扱ひ一人心再び叛く小至る爰  
 小於て瑞典の元の国王の子孫俄世答コウアツサといふ  
 者民間より起り四辺と平定して又獨立国となれり  
 那威ハハ時を不噠国小属す噠国瑞典共小那獲の  
 新教を念ずると以て宗門改革の乱小當り兩國共小  
 兵と出し屢壞地利と戦ひ瑞典王俄世答コアドルフハ  
 ハユツエンの地小於てコルレンスタインの大軍小當り小



コアドルフ  
勇戦の  
図

勢を以て大り小是小討勝  
 其身も戦場小命  
 と殞せり瑞典王の中小て高  
 名あるハ十二世查理斯あり  
 小當り魯西亜も又彼得帝  
 領地を併呑の企ある故兩雄  
 終小兵と接し土地と争ふて

萬國百物語 三

三

二十餘年布多注の一戦ふ查理斯王彼得帝の爲に  
 破と瑞典の軍威是より終ふ振はずありて噠国へ一  
 世拿破崙の乱ふ當り那威と瑞典ふ合せられ日耳曼  
 の領分と普魯士の爲に奪れり噠国人瑞典人の勇  
 気ありて能耕作と勉め那威人の猛勇ゆて義と  
 重んずるとも風俗野鄙ゆて智慮ふ乏しとあり

萬國百物語三終



